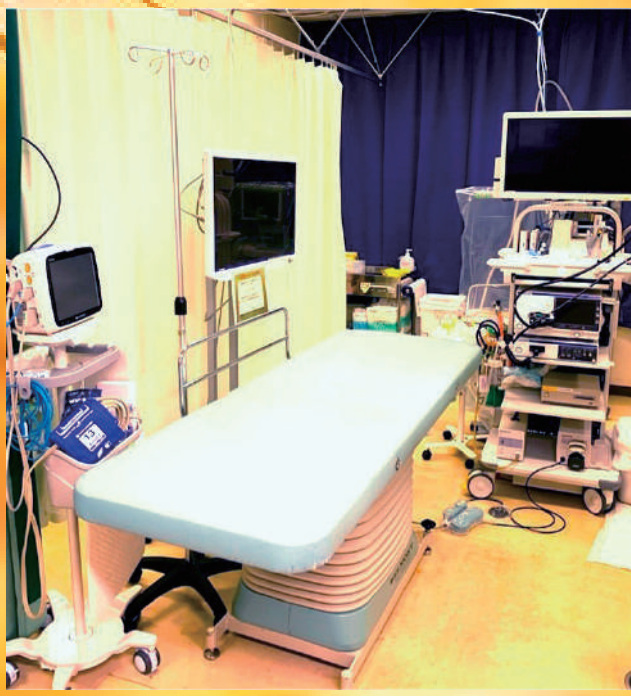
福岡市民病院　地域連携広報誌

Fukuoka City Hospital

FCH

Vol.51
2024
Autumn



- ○消化管センターのご紹介（外科部門・内科部門）
- ○東部オープンカンファレンス・症例検討会活動報告
- ○予約方法について
- ○オンライン診療開始のご案内

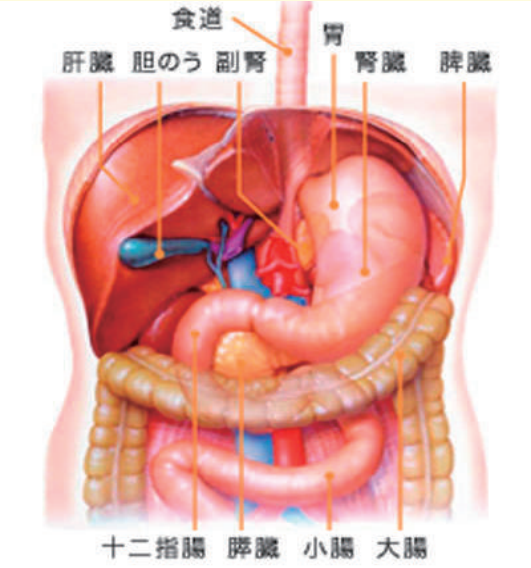
地域医療支援病院
地方独立行政法人福岡市立病院機構
福岡市民病院

福岡市博多区吉塚本町 13-1
TEL 092-632-1111　FAX 092-632-0900
https://shiminhp.fcho.jp/

消化管センター

食道、胃、小腸、大腸、肛門、腹膜に発生する様々な病気を対象としており、消化管外科専門医と消化管内科専門医が協力して診断・治療を行っています。

当院には肝・胆・膵センター、脳神経・脳卒中センター、糖尿病センター、腎センター、ハートセンターなどのサブセンターが併設されているため、高齢者や肝硬変、糖尿病、脳卒中、心臓病などの全身合併症を有するハイリスクな患者さんが多いのが特徴であり、専門医療チームと協力して、安心・安全な消化管治療を行っています。



消化管外科

診療統括部長　山本　学

主な対象疾患は、食道疾患、胃癌、大腸癌、良性疾患、急患疾患等です。

現在外科部門は、東副院長以下、山本診療統括部長、専攻医、研修医の4名で力を合わせて診療を行っています。2023年度は、医師の退職の関係上、手術症例が例年に比べ40例程減少しましたが、2024年度の4月から9月までの6ケ月の手術症例数は107例（17.8例/月）と増加傾向です。

消化管外科手術症例数の推移

疾患	2022年度	2023年度	2024年度（4～9月迄）
食道疾患	10	3	0
胃癌	23	25	13
大腸癌	72	35	32
その他	81	81	62
合計症例数	186	144	107

【診療内容】

食道胃接合部癌

食道胃接合部癌は近年増加傾向であり、高齢、逆流性食道炎の観点から腺癌が増加しています。当科では腹腔鏡下に下部食道切除＋噴門部切除術を行っています。術後の後遺症（逆流性食道炎）も軽度で生活の質も維持できています。

胃癌

腹腔鏡下胃切除術を行っており、進行癌や残胃癌でも腹腔鏡手術を行っています。

また、最近の傾向として高齢者が多いこと、さらに臓器温存、機能温存の観点から胃全摘術の割合が減少しています。胃液の逆流防止を考慮した噴門側胃切除術を行うことが増えています。

一方、腹膜播種、腹部大動脈周囲リンパ節転移、肝転移などを有する進行胃癌の治療は、従来からの課題です。近年、胃癌における化学療法が進歩し、以前は手術の対象とならなかった病変が、化学療法後に癌が縮小し根治手術が可能となる症例（コンバージョン治療）を多く経験しています。

また、胃粘膜下腫瘍や胃GIST等は、機能温存を目的に消化器内科と共同で腹腔鏡・内視鏡合同手術（胃局所切除術）を行っています。特に食道・胃接合部付近や十二指腸の病変に対しても積極的に行っています。

大腸癌

結腸癌も直腸癌も多くの症例で腹腔鏡手術を行っています。下部直腸癌に対しては、最近では術前に化学放射線治療＋化学療法（TNT治療）にて治療を行ったのちに手術を行っており治療成績も向上しています。以前は永久人工肛門となっていた患者さんでも、肛門温存が可能となることが多くなりました。

また、胃癌と同様に遠隔転移（肝・肺など）を認めた症例でも、化学療法と手術療法を組み合わせた集学的治療によって根治を目指すことも可能となっています。

良性疾患

急性虫垂炎、腹壁・鼠経ヘルニア、食道裂孔ヘルニア、腸閉塞、直腸脱等に対してもほとんどの症例で腹腔鏡下手術を行っています。

上記の手術以外にも術前・術後の補助化学療法や進行・再発の化学療法を積極的に行っています。当科、消化管内科、薬剤部、がん認定看護師、栄養士による多職種でのカンファレンスを行っています。また、最近では免疫チェックポイント阻害剤の登場で治療効果や予後を大きく改善しています。化学療法治療件数も近年増加傾向です。

化学療法治療件数の推移

	2022年度	2023年度	2024年度（4~9月迄）
化学療法治療件数	924	748	392

今後も患者さんや紹介医の信頼を大切にして診療を行ってゆく所存です。
消化器疾患の手術や化学療法の患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介をお願い申し上げます。

最後になりましたが、先生の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

Profile

診療統括部長 兼 消化管外科科長
消化管センター長

山本　学　医学博士

日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本臨床腫瘍学会専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本食道学会食道外科専門医
日本胃癌学会評議員
日本食道学会評議員
日本内視鏡外科学会評議員
日本臨床外科学会評議員
日本消化管学会評議員



消化管内科

消化管内科 科長　髙橋　俊介

診療内容

消化管内科では消化管腫瘍の診断と治療、クローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患、消化管出血や腸閉塞、異物誤飲等の消化管救急診療、機能性疾患、抗がん剤診療など、消化器の癌診療から救急疾患、慢性疾患まで広い領域にわたり24時間体制で対応しています。

また、消化管内科・外科・看護部・放射線科・薬剤部・栄養科など多部門と回診や定期的カンファレンスで連携をとりながら、患者様に最善の医療を提供できるように努力しています。治療後は「消化管カンファレンス（年に5回, 現地・WEB開催）」を行い、症例毎に臨床経過から術前診断、術後の病理評価まで丁寧な議論を行い理解を深めるとともに、周辺の医療機関の先生方とも現地またはWEBを通じてご参加いただき、議論を深め連携を行うことで地域医療への貢献を目指しています（カンファレンスの内容は後日オンデマンドで視聴可能です）。

スタッフ

髙橋、池田を中心に常勤医師４名と非常勤医師１名で協力し、エビデンスに基づいた医療提供を心掛けて日々診療を行っています。また、髙橋は九州大学大学院形態機能病理学で学位を取得しており、必要時には組織生検から手術検体まで症例ごとに組織学的な検討を行い、日々の診療の質向上に努めています。組織結果も含めて悩ましい症例などありましたら、ご紹介いただけますと幸いです。

施設認定

日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会・日本消化管学会の指導施設、日本がん治療認定医機構の認定研修施設に認定されています。このほかにも学会や研究会活動も行っており、出身教室である九州大学病態制御内科学と連携し、エビデンスに基づいた高水準の先進医療を患者様に提供できるように日々努力してまいります。

Profile
消化管内科科長

髙橋 俊介　医学博士

日本内科学会指導医・総合内科専門医・認定医
日本消化器病学会指導医・専門医
日本消化器内視鏡学会指導医・専門医
日本消化管学会胃腸科指導医・専門医・認定医
日本栄養治療学会認定医
日本病態栄養学会学術評議員・専門医
NSTコーディネーター・研修指導医
日本消化器学会九州支部評議員
日本消化器内視鏡学会九州支部評議員
日本消化吸収学会評議員
日本がん治療認定医機構がん治療認定医



内視鏡診療

消化管内科 科長　髙橋　俊介

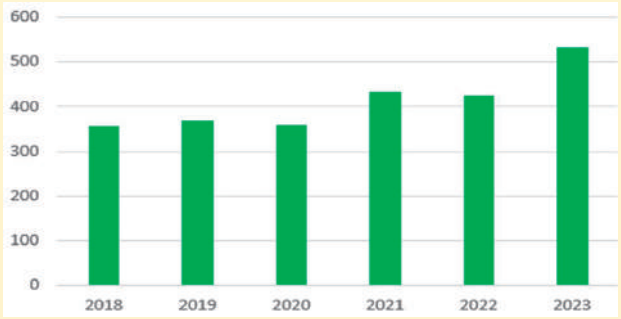
内視鏡室の紹介

当院の内視鏡室は平成26年11月に本館３階から１階へ移設し、透視室へのアクセスや内視鏡設備、医療機器を充実させており、患者様が安心して検査や治療を受けていただけるように環境を整備しております。また、検査・治療件数の増加にしたがって2022年4月より内視鏡検査ブースを増設し、3室で検査及び治療を行っております。それにより検査室の混雑状況の改善や待ち時間の短縮、緊急症例の迅速な検査室搬入ができるようになりました。

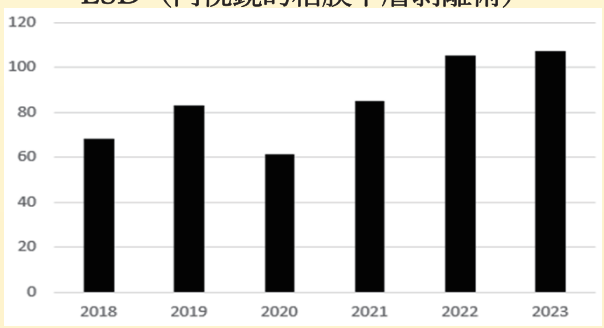
内視鏡診療

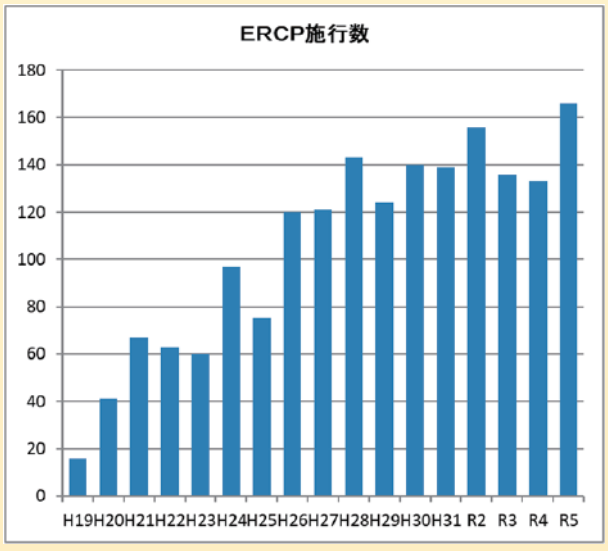
通常の内視鏡診療に加えて、胃・大腸ポリープに対するポリペクトミー・EMR（内視鏡的粘膜切除術）や早期消化管癌に対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）も積極的に行っており、当院では令和５年度のポリペクトミー・EMRは531件、ESDは合計107件（食道8件、胃44件、大腸55件）施行し近年増加傾向です。

ポリペクトミー・EMR件数



ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）





静脈瘤破裂を含む消化管出血やイレウスチューブ挿入、バルーン拡張術、異物除去術などの緊急内視鏡処置や、消化管狭窄へのステント挿入、外科と連携しLECS（腹腔鏡・内視鏡合同手術）を含めた術中内視鏡も施行しています。

また、膵胆道内視鏡診療として、胆膵癌や胆管炎の検査・治療であるERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）やEST（内視鏡的乳頭括約筋切開術）、ステント挿入、ドレナージ、総胆管砕石術も増加傾向にあり、令和５年度では166件でした。

感染対策

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行期も検温・室温換気・消毒の徹底・スタッフのPPE（個人用防護具）、学会提言を下に作成した検査前の問診票チェック等、感染対策を徹底し診療を行っています。当院ではCOVID-19症例の受け入れを積極的に行ってきましたが、感染症流行期の消化管疾患への対応の経験も今後に活かしていきたいと思います。

救急内視鏡診療も含めて24時間体制で対応しており、福岡市の中核病院として、地域住民の皆様に安全で良質な医療を実践できるように努めてまいります。

第58回 福岡東部オープンカンファレンス

【開催】
2024年9月9日（月）

【テーマ】
画像のあれこれ

【演題】

1. 当院のCTとMRIの紹介

放射線部　木原　謙

2. 腰椎MRI：読影の基本

整形外科科長　田中　哲也

3. 胸部単純写真の見方と落とし穴

放射線科科長　清澤　恵理子



ご視聴はこちらから↓

【消化管症例検討会】

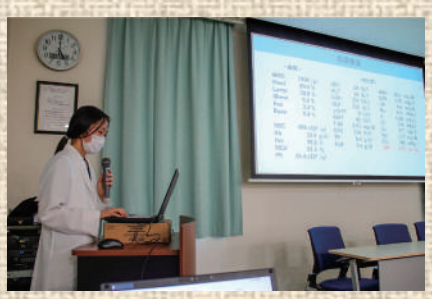
【開催】
2024年10月8日（火）17：00

【症例】

1.「メトロニダゾールが奏功した腸管嚢腫様気腫症の1例」（74歳女性）
消化管内科医師　池田　浩子

2.「Total Neoadjuvant Therapy（TNT）が有用であった直腸癌の一例」　（60代男性）
外科医師　藤川　乱麻

ご視聴はこちらから↓





患者さんのご紹介方法

外来受診の場合

診療受付時間　月～金曜日【8:30～11:00】

来院時間	
8:30～11:00	初診は予約制ではないため、紹介状をお渡しのうえ、当院へご案内ください。 事前にFAXにてご紹介いただく場合は、ホームページに掲載している「診察申込書」をプリントアウトしてご利用いただけます。
11:00～17:00	急患・ご紹介の場合は、地域医療連携室までご連絡ください。 ☎（TEL:092-632-3430）　🖷（FAX:092-632-3431）
17:00～翌日 8:30	当院・時間外窓口（代表）へご連絡ください。 ☎（TEL:092-632-1111）

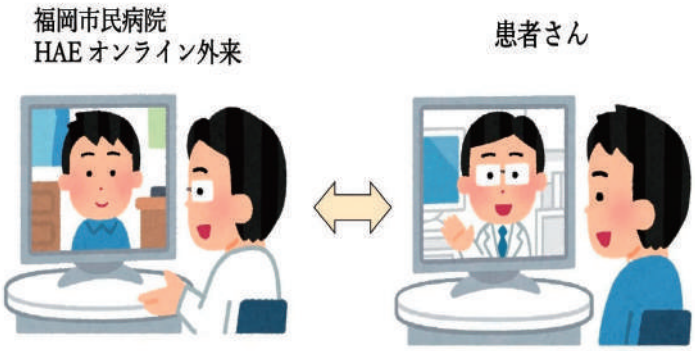
検査の予約方法

※検査の予約につきましては、FAX でもお受けいたします。
詳しくは、ホームページをご参照ください。（検査申込書を掲載しております。）

予約受付時間　月～金曜日【8:30～17:00】 直接ご連絡もしくは FAX をお願いします。

項目	連絡先・結果報告	注意事項
CT・MRI	☎ 病院代表:092-632-1111 放射線受付（内線 1105） 🖷 地域医療連携室 （FAX:092-632-3431） 放射線科専門医が読影後、レポートと CD-ROM を当日患者さんにお渡しするか、もしくは郵送します。	※予約時間の 30 分前にお越しください。 ※確認をお願いします。 ・リブレ血糖測定器の有無（CT・MRI） ・ペースメーカー及び磁石のついた義歯の有無について（MRI のみ） ※造影 CT・造影 MRI ・検査日より３ヶ月以内の血清クレアチニン値添付 ・ビグアナイド系糖尿病薬を投与中の場合、前後 2 日間は休薬をお願いします。（造影 CT のみ） 造影 CT：検査前 3 時間の絶食 MRCP：検査前 4 時間の絶飲食
上部消化管内視鏡	☎ 病院代表:092-632-1111 内視鏡室（内線 1313） 🖷 地域医療連携室 （FAX:092-632-3431） 消化器専門医が読影後、レポートを当日患者さんにお渡しするか、もしくは郵送します。	※予約時間の 15 分前にお越しください。 前日の午後 9 時以降は絶食。 当日朝の少量の飲水は可。 ※（鎮静希望の方） 検査当日から翌朝までは車両の運転はできませんので、公共交通機関等をご利用ください。

オンライン診療開始のご案内



福岡市民病院では2024年11月より「HAEオンライン外来」（担当：院長　堀内孝彦）を開設しました。（HAE：遺伝性血管性浮腫、担当科：リウマチ・膠原病内科）

パソコンやスマートフォンを使ったビデオ通話により、問診・診察・処方・お支払いまでを行うことができます。

遠方にお住いの方でもお気軽に受診することが可能です。

詳細は当院ホームページをご覧ください。



当院では、Instagramを登録しており病院見学や採用関係等、情報発信をしております！フォローお待ちしております！

福岡市民病院　外来担当医一覧表

（受付時間：平日　午前8時30分～午前11時）

◎：新患　●：再来

診療科		専門分野	医師名	月	火	水	木	金
消化管センター	消化管外科	消化器外科，一般外科	東 秀史（ヒガシ ヒデフミ）	○		○	○	
		消化器外科，一般外科	山本 学（ヤマモト マナブ）		○			○
	消化管内科	消化管一般，病態栄養	髙橋 俊介（タカハシ シュンスケ）	●	◎	内視鏡	●	透視 内視鏡
		消化管一般	池田 浩子（イケダ ヒロコ）	透視 内視鏡	●	◎	透視 内視鏡	●
		消化管一般	近藤 悠樹（コンドウ ユウキ）	◎	内視鏡	●	透視 内視鏡	◎
		消化管一般	名取 宥哉（ナトリ ユウヤ）	透視 内視鏡	内視鏡	内視鏡	◎	透視 内視鏡
		消化管一般	長田 美佳子（オサダ ミカコ）		内視鏡	内視鏡	内視鏡	
		消化管一般	後藤 綾子（ゴトウ アヤコ）	内視鏡				
肝・胆・膵センター	肝臓外科	肝・胆・膵外科，胆石外来	森田 和豊（モリタ カズトヨ）	○		○		
	肝臓内科	肝・胆・膵	小柳 年正（コヤナギ トシマサ）		○	○		○
		肝・胆・膵	吉本 剛志（ヨシモト ツヨシ）		○		○	○
		肝・胆・膵	中村 吏（ナカムラ ツカサ）	○		○	○	
		肝・胆・膵	原 真児登（ハラ マコト）	○				○
血管外科		血管外科，腎不全外科	江口 大彦（エグチ ダイヒコ）		○			○
		血管外科	本間 健一（ホンマ ケンイチ）	○				○ （午前）
腎臓内科		腎臓内科一般，血液浄化	池田 裕史（イケダ ヒロフミ）	○	○	○	○	
		腎臓内科一般，血液浄化	吉田 祐子（ヨシダ ユウコ）					○
		腎臓内科一般，血液浄化	大賀 健司（オオガ ケンジ）					
糖尿病センター	糖尿病内科	糖尿病	坂井 義之（サカイ ヨシユキ）	●	◎	●	●	◎
		糖尿病	安部 健太郎（アベ ケンタロウ）	◎	●	●	◎	●
感染症内科		感染症	原田 由紀子（ハラダ ユキコ）					○
		感染症	谷 直樹（タニ ナオキ）				○	
		感染症	芳野 秀治（ヨシノ シュウジ）					
放射線科		画像診断一般，IVR	清澤 恵理子（キヨサワ エリコ）	エコー（超音波） ※交代制				
		画像診断一般	村山 佑里子（ムラヤマ ユリコ）					
		画像診断一般	黒木 翔太（クロキ ショウタ）					
		画像診断一般	古城 友梨枝（コジョウ ユリエ）					
内科			※曜日による交代制	安部	坂井(義)	池田(浩)	小柳	原

診療科		専門分野	医師名	月	火	水	木	金
リウマチ・膠原病内科		リウマチ・膠原病・血管炎	小野 伸之（オノ ノブユキ）		● （午後）	● （午後）	◎ （午前）	
呼吸器内科		呼吸器内科一般	柴原 大典（シバハラ ダイスケ）		○			
ハートセンター	循環器内科	循環器一般，虚血性心臓病，心不全	弘永 潔（ヒロナガ キヨシ）	●		◎	◎	
		循環器一般	大坪 秀樹（オオツボ ヒデキ）	◎	◎	ペースメーカー （午後）		●
		循環器一般，不整脈	康 憲史（カン ホンサ）					
		循環器一般	松浦 託（マツウラ タク）				●	◎
		循環器一般	馬場 功士（ババ イサシ）		●	●		
		循環器一般	渡邊 高徳（ワタナベ タカノリ）		○ 不整脈	○ 不整脈		
		循環器一般	塩入 慧亮（シオイリ ケイスケ）	●				
脳神経・脳卒中センター	脳神経外科	脳血管障害，神経外傷，脊髄疾患，脳腫瘍，てんかん	平川 勝之（ヒラカワ カツユキ）	○	手術のため予約制	○		
		脳神経外科一般，救急	吉野 慎一郎（ヨシノ シンイチロウ）					○
		脳血管障害	福島 浩（フクシマ ユタカ）				○	
		脳神経外科一般	後藤 夏奈（ゴトウ カナ）					○ （午後）
	脳神経内科	脳神経内科一般	長野 祐久（ナガノ スケヒサ）	◎	●		●	◎
		脳神経内科一般，脳血管障害	中垣 英明（ナカガキ ヒデアキ）		◎		●	
		脳神経内科一般	柴田 憲一（シバタ ケンイチ）	●		◎		
		脳神経内科一般	向井 達也（ムカイ タツヤ）				◎	●
整形外科		脊椎外科	齊藤 太一（サイトウ タイチ）	○			○	
		脊椎外科	入江 努（イリエ ツトム）			○		○
		脊椎外科	田中 哲也（タナカ テツヤ）	○		○		
		股関節外科，膝関節外科，脊椎外科	中原 寛之（ナカハラ ヒロユキ）		○			○
		脊椎外科，外傷	青野 誠（アオノ マコト）	○			○	
		整形外科一般	江口 大介（エグチ ダイスケ）		○		○	
		整形外科一般	古場 裕人（コバ ヒロト）			○		
眼科		眼科一般	前田 真奈美（マエダ マナミ）	○	○	○	○	○
救急科		救急医学，集中治療医学	小野 雄一（オノ ユウイチ）					
		救急医学	砂川 卓哉（スナカワ タクヤ）					

地域医療連携室直通（平日 8：30～17：00）

TEL：092-632-3430　FAX：092-632-3431

編集・発行

地方独立行政法人　福岡市立病院機構

福岡市民病院

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番1号

TEL 092-632-1111　FAX 092-632-0900

https://shiminhp.fcho.jp/

■受付時間：平日8：30～11：00

■休診日：土日祝日・年末年始（12/29～1/3）

急患は救急外来で24時間対応します。